

沖縄県さとうきび競作会 【集団（機械化集団）の部】 年期別受賞者（団体）

年期別	氏名	地区	面積	生産量	備考
平成 4/5 年期	宮古郡平良市細竹部落 (26 戸)	宮古地区	25ha	2,461 t	9.8t/10a
平成 6/7 年期	安富祖さとうきび生産組合 (恩納村)	北部地区	4.7ha	329 t	7.0t/10a
平成 7/8 年期	石垣市平喜名さとうきび生産組合	八重山地区	6.7ha	497 t	7.4t/10a
平成 8/9 年期	農業生産法人 (有) サザンファーム	八重山地区	5.8ha	318 t	5.5t/10a

沖縄県さとうきび競作会 【特別表彰の部】 年期別受賞者（団体）

年期別	氏名	住所	推薦理由
平成 8/9 年期	伊是名村	伊是名村	農業基盤整備、収穫作業の機械化等を積極的に推進し、生産量が飛躍的に向上。
	興那 盛幸	粟国村	長年にわたり、地域のさとうきび生産振興に尽力。
平成 9/10 年期	波照間島 さとうきび生産組合長会	竹富町字波照間	収穫作業の共同作業体系を確立し、農家所得の安定確保を実現するとともに、さとうきび糖業の維持発展に大いに貢献。
	野甫 武佑	伊平屋村字島尻	沖縄県含みつ糖業界の発展に尽力。
平成 10/11 年期	伊志嶺 敏彦	石垣市名蔵	多量生産農家として地域のさとうきび生産振興に大きく貢献。
平成 15/16 年期	松原 浩	竹富町字小浜	地域のさとうきび糖業・振興に大きく貢献。
平成 16/17 年期	與那嶺 正利	伊平屋村字我喜屋	植付前の2回の深耕等による土作りを徹底、収穫後の枯葉のすき込みやクロタリアの播種等により、地区平均反収は常に上回っている。また、さとうきび栽培技術も熟知しているため、農家からの信頼も厚い。栽培暦 50年 62歳
	末吉 輝男	伊是名村字内花	同氏は、兼業農家でありながら、限られた時間の中で効果的・合理的な栽培管理作業を徹底し、長年多量生産者としての地位を確立して来た。地域の生産農家の模範となっている。 また、農業委員も4期(12年)勤め、村の農業振興に貢献している。栽培暦 28年 49歳
	平田 政次郎	久米島町字真謝	大規模農家にもかかわらず管理作業を充分に実施し、反収は常に平均を上回り他の生産者の模範となっている。 高齢になってもその生産意欲はますます旺盛で、トラクターによるきび搬出、畦立て等の農作業の受託を実施。若手への栽培指導など地域のさとうきび生産に対する役割は非常に大きい。 栽培暦 30年 84歳
	神里 幸輝	南風原町字山川	第26回沖縄県さとうきび競作会へ出品し、農林水産大臣賞を受賞するなど、高齢にもかかわらず生産意欲も旺盛で、神里氏の取り組みは、地域、近隣市町村の生産農家の模範となっている。また、視察研修の依頼には積極的に対応し、技術の公表もオープンである。 生産農家だけの視点でなく、製糖工場等関係団体の立場も考慮しながら共に共存できるさとうきび振興を提唱している。栽培暦 26年 80歳

年 期 別	氏 名	住 所	推 薦 理 由
平成 16/17 年 期	よせかわ たかし 寄川 孝	下地町字与那覇	学校卒業後より、現在までさとうきび栽培に関わって来ました。その間、平成2年からミニドラム使用による収穫作業の省力化への取り組みや農業委員2期6年、自治会長を努めるなど、下地町におけるさとうきび生産振興及び地域農業発展に多大な貢献が認められます。 栽培暦 47年 62年
	しもじちやうのうぎやうきかいぎんこう 下地町農業機械銀行	下地町字上地	農作業受委託を推進し、農業機械化一貫体系による労働力の省力化と低コスト農業により、地域の農業生産の安定的増大と農業経営の近代化に大きく寄与している。
	ともり しゅんこう 友利 春 幸	城辺町字下地添	農業基本は土づくりであるとの観点から、家畜排泄物の堆肥投入により、反収アップに取り組むと共に、病害虫防除、肥培管理を徹底し、生産量の維持、品質向上に努めて地域の模範となっている。城辺町共進会において多量生産者の部で常時受賞している。 栽培暦 33年 58歳
	さくもと ひでお 佐久本 秀夫	伊良部町字仲地	昭和47年頃からさとうきび作りを開始し、病害虫防除の徹底や夏場（干ばつ時）には、かん水を可能な限り行うなど、さとうきび作りを非常に熱心に行っている。 毎年安定した生産量、反収、品質面で他の生産農家の模範となっている。また、製糖工場や関係機関とも協力的であり、リーダー的農家である。 栽培暦 33年 77歳
平成 17/18 年 期	うえま しゅうせい 上間 秀 清	名護市 字我部祖河	同氏は、昭和32年からさとうきび栽培に取り組み、地域農業の振興に尽力するとともに、平成13年にはJAの羽地さとうきび部会を発足させ、初代会長に就任するなど組織育成に貢献。 現在でも、200aの畑に毎年140～150tのさとうきびを生産し、特に新規就農者に対する助言指導等を行うなど、地域の担い手育成にも貢献している。 栽培暦 49年 84歳
	いは えいきち 伊波 永 吉	うるま市 石川字伊波	同氏は、昭和45年から毎年100t以上のさとうきびを生産し、特に栽培方法には創意工夫を凝らし、堆肥の投入、奨励品種の導入、収穫作業の改善等取り組んで来た。また、規模拡大を図り遊休地解消にも貢献して来ている。農業機械士中部支部に所属し、会員のリーダー的存在でもある。 栽培暦 35年 73歳
	ともり としこ 友利 俊子	宮古島市 城辺字友利	同氏は、幼い頃からさとうきび作りを手伝い昭和35年からは本格的に取り組んで来た。農業の基本である土づくりを徹底し、緑肥、堆肥投入また、病害虫防除や適期肥培管理を実施して、安定生産、品質向上に努め、地域の模範となっている。また、昭和56年から平成8年までの15年間原料員として、地域の指導等糖業の発展に貢献して来ました。 栽培暦 46年 77歳
	すがま さぶろう 洲鎌 三 郎	宮古島市 下地字入江	畜産との複合経営の中、毎年100t以上を生産し、甘蔗糖度も15度以上と高品質なさとうきび作りを実践している。牛糞堆肥、緑肥の導入による土づくり等の基本技術を徹底し、夏植が主流な地域でも株出栽培に力を入れ、模範となる農家の1人である。 栽培暦 48年 72歳

年 期 別	氏 名	住 所	推 薦 理 由
平成 17/18 年 期	てるや げん 照屋 玄	石垣市字新川	同氏は、昭和 16 年頃から父のさとうきび栽培を手伝いはじめ、水稲やパインとの複合経営に取り組んで来た。病害虫防除、肥培管理、除草作業等適期肥培管理を実施し、毎年生産量や反収等が高位安定しており、地域の模範となっている。毎年 3ha 前後の栽培面積で 200t 以上を生産するなど、石垣市のさとうきび生産振興に大きな役割を担っている。 栽培歴 64年 79歳
	なかだ としお 仲田 利男	伊是名村諸見	同氏は、幼い頃からさとうきび作りを手伝い、昭和 50 年からは基本的な技術を実践しながら本格的に栽培に取り組んできた。 特に、夏場の早薹時には誰よりも灌水を早く実施また、病害虫防除においても共同防除前に実施するなど地域の模範となっている。新規就農者に対しても助言指導等を行うなど地域担い手の育成にも貢献している。 栽培歴 31年 57歳
平成 18/19 年 期	きんじょう まさお 金城 政雄	恩納村富着	昭和 35 年に父から農業を引継ぎ、さとうきび専業農家として 45 年。増産の為に生産技術の創意工夫に熱心に取り組んでいる農家である。腐植が少なく痩せて株出が難しい土地でも、植付時に 10a 当たり 20t の堆肥を投入し土づくりを実施。67 回の株出で反収 6.5t を維持している。 他市町村からも栽培技術を学ぼうと視察者がたえることなく、地域の模範的な農家である 栽培歴 45年 69歳
	きな とくしょう 喜納 徳昌	北中城村字渡口	同氏は、昭和 51 年に会社を退職し翌年から現在にまでさとうきび栽培に専念し、30 年間の栽培専業農家である。 植付時の欠株対策も実施し、反収向上や品質向上に努めている。 また、さとうきびの生産振興にも積極的に協力し、地域の模範的存在となっている。 栽培歴 30年 89歳
	みやくに めぐむ 宮国 恵	宮古島市平良	同氏は、昭和 39 年頃から現在まで栽培歴 42 年のさとうきび専業農家である。また、19 歳から 40 歳まではさとうきび運搬も行うなど糖業産業に貢献してきている。また、パカスケーキ堆肥や緑肥栽培による土づくりの徹底ときめ細やかな病害虫対策を行うなど、地域の模範となっている。 栽培歴 42年 68歳
	かりまた ひでお 狩侯 秀男	多良間村塩川	同氏は、中学校卒業からさとうきび栽培を行い、現在まで栽培歴 55 年のさとうきび栽培農家である。約 300a の経営規模で毎年 100t 以上を生産してきている。栽培管理の徹底を実施し、地域生産農家のリーダー的存在である。 栽培歴 55年 70歳
	やまぐち もといち 山口 基一	宮古島市伊良部	同氏は、昭和 53 年頃から現在まで栽培歴 28 年のさとうきび栽培農家である。適期肥培管理やほ場ごとに実態にあった堆肥や緑肥栽培による土づくり等を行い地域における模範的な農家である。 栽培歴 28年 59歳
	おおしま ひこしげ 大島 彦成	石垣市白保	同氏は、さとうきび栽培に取組み 65 年、収穫面積 4ha、生産量 300t 以上と石垣市のさとうきび生産の中核を担っている。 適期肥培管理、病害虫防除の徹底また、栽培管理しやすいうように農機を改良するなど努力家である。「農魂」をモットーに 65 年間日々一生懸命農業に取り組んできた姿勢は、石垣市だけでなく八重山地域における模範的農家である。 栽培歴 65年 81歳

年 期 別	氏 名	住 所	推 薦 理 由
平成 19/20 年 期	たかえす とくお 高江洲 徳 雄	名護市久志	同氏は、20代からさとうきび栽培に取組み、栽培歴50年を超えるベテラン農家である。10年近く区長を努め、その間、補助事業を活用して土地改良や農業用水の整備、ハーベスター等の農業機械の導入に尽力するなど、地域のさとうきび振興に多大なる貢献をしております。 栽培歴 50年 74歳
	なかざと やすお 仲里 康 男	宮古島市平良	同氏は、製糖工場からのバガスやケーキを積極的に活用し、土づくりによる単収向上に取組んでいる。また、地域においては、オペレーターとして受託作業グループの活動を通してさとうきび担い手の育成にも取組み、作業の効率化や意識の向上・知識の共有化を図っている。 栽培歴 25年 65歳
	とぐち しげお 渡口 繁男	多良間村字塩川	同氏は、基本的な栽培管理を徹底し、適期肥培管理・適期防除に努め、特に優良苗の肥培管理は徹底している。 年々経営規模の拡大を図り、収穫量300tを超える多良間村でトップクラスの多量生産農家である。 栽培歴 44年 70歳
	うらなか ひろし 浦 仲 浩	竹富町波照間	同氏は、さとうきび栽培に取組み58年、高齢にもかかわらず現在でも意欲的にさとうきび栽培に取組んでいる。 糖業組合の役員等を努め、波照間製糖工場の誘致の際には、中心的に活動し、現在の波照間島の糖業の礎を築き、地域糖業への功績は大である。 栽培歴 58年 83歳
平成 20/21 年 期	はまざと まさる 浜里 勝	伊是名村	S59年から本格的にさとうきび栽培に取り組み、原種苗ほの設置等積極的に協力するなど、優良品種の普及に貢献し、地域の模範農家となっている。 栽培歴 25年 64歳
	しまだ よしお 島田 義雄	宜野座村	S27年頃から父親とともにさとうきび作りを始め、地区の土地改良が終了したS58年以降経営規模拡大を図り、毎年100t以上を生産するなど優秀な生産農家である。 栽培歴 56年 75歳
	きんじょう けんいち 金城 健 市	うるま市与那城	さとうきび+繁殖牛の専業農家で、その特性を生かし、堆肥、厩肥の投入、また奨励品種の導入、収穫作業の改善等地域の模範となっている。 農業機械士中部支部に所属し、農作業の機械化等に取り組み、さとうきびの生産振興に貢献している。 栽培歴 26年 69歳
	おおしろ ひろし 大城 宏	糸満市	堆肥やバガス、ケーキの投入による土づくり、夏場のかん水、収穫後の株出管理の徹底等単収向上に努めるなど地域の模範農家となっている。 栽培歴 34年 70歳
	なかま とよきち 仲間 豊 吉	宮古島市平良	農業委員や原料員を長年務め、地域の農業事情にも精通し、相談役として地域の農業や糖業の振興に貢献している。 栽培歴 50年 79歳
	たいら けいしゅん 平良 恵 俊	宮古島市城辺	機械化農業の推進により規模拡大や土づくりに取り組み、毎年200t以上を生産する多量生産農家として地域の模範となっている。 栽培歴 54年 70歳

年 期 別	氏 名	住 所	推 薦 理 由
平成 20/21 年 期	しもじ まさよし 下地 昌義	多良間村	適期肥培管理や土づくりに積極的に取り組み、反収向上を図りまた、遊休農地を借りて規模拡大を図るなど、地域の模範となっている。 栽培歴 40年 65歳
	たましろ のぶゆき 玉城 惟行	石垣市	3 作型の組み合わせで平均単収も高くまた、地域の生産組織活動の実績も豊富で、地域の担い手の模範となり、青年層からの信頼も厚く、長年に亘り地域のさとうきび生産振興に貢献している。 栽培歴 54年 71歳
	つはこ いさお 津波古 勲	今帰仁村	毎年、今帰仁村の多量生産者の上位に名を連ねる農家である。工場在職中に今帰仁村機械銀行を立ち上げた、バガス堆肥散布体制の整備のほか、種苗圃を作って優良品種を配布するなど、地域のさとうきび生産振興に大きく貢献している。 栽培歴 29年 67歳
	ひが とくじん 比嘉 徳仁	中城村	平成 11 年に県内で初の生産法人を設立し、さとうきび生産体制の新たなモデルとして糖業や他の農業生産にも大きな影響を与えた。また、県さとうきび生産法人連絡協議会会長や農業機械士中部支部長などを歴任し、リーダーとして地区のさとうきび生産を牽引してきた。 栽培歴 38年 75歳
	こじゃ かつゆき 古謝 勝行	宮古島市平良	子供の頃から手伝いはじめ、中学卒業後から本格的に農業に従事し、長年さとうきび・糖業に貢献してきた。また、現在でも多量生産者として地域のさとうきび生産の振興に大きく貢献している。 栽培歴 67年 83歳
	くがい しげる 久貝 繁	宮古島市伊良部	日頃から栽培の基本技術の徹底や適期肥培管理に取り組んで単収向上を図りまた、機械化農業の推進等により規模拡大し、多量生産農家として数多くの表彰を受け、地域の模範となっている。 栽培歴 55年 73歳
	こそこ ちょうせい 小底 朝正	竹富町西表島	竹富島から移住し、49 年間さとうきび栽培に従事し、地域の中核的存在である。高齢となった現在でも毎日畑に足を運び適期肥培管理に取り組み、常に地域の平均単収を上回り、他の生産者の見本となっている。 栽培歴 49年 77歳

沖縄県さとうきび競作会 【審査委員長賞】 受賞者

年 期	作 型	氏 名	住 所	純蔗莖収量 (kg/10a)	甘蔗糖度 (度)	甘蔗糖重量 (kg/10a)	備 考
平成 19/20 年 期	夏 植	具志堅 哲也	南大東村	13,083	13.8	1,805	